

スーパーサンプラザにおける 温室効果ガス削減の「見える化」の取り組みについて

～ 2023年11月10日 GAPJ APAN2023 有明セントラルタワーにて



『食卓に安心と健康をお届けする』 スーパーマーケットを目指して



食卓に安心と健康をお届けする

スーパーマーケット
サンプラザ

We wish your healthy diet and
a happy life every day.

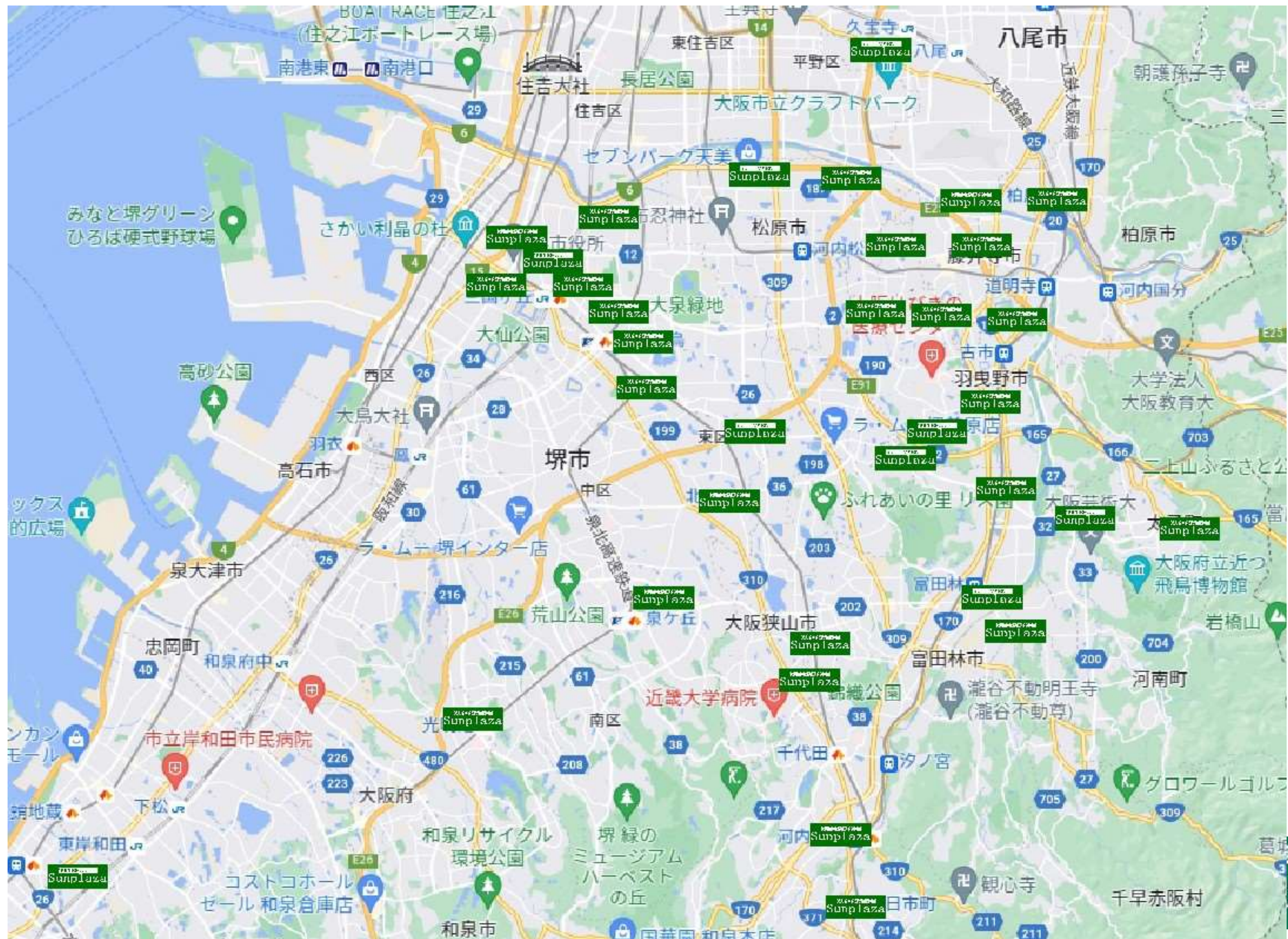


株式会社 サンプラザ

- サンプラザにおいて、食品スーパーを36店舗運営
 - 総店舗数は37店舗であり、内衣料品単独店舗が1店舗
- 出店地域は、大阪府南部地域へのドミナント展開
 - 大阪府内では、羽曳野市・富田林市・堺市・八尾市・河内長野市・貝塚市・南河内郡太子町・河南町
 - 奈良県では、橿原市
 - 堺市へは12店舗の出店となり、約1/3を占めています



サンプラザ 大阪府内店舗 (大和八木店除く大阪府内店舗)



サンプラザグループとしては・・・

食品スーパーマーケット事業のサンプラザを中核とし、

別事業会社においては、惣菜工場を運営しており学校給食の製造受託も行ったり、完全閉鎖型植物工場の運営も担っています

1次産業から3次産業までを行う食品流通グループです



有機野菜も長らく販売継続

- スーパーサンプラザにおいては、2000年過ぎ頃から有機JAS農産物を継続して販売しています。
- そして、大阪府においては大阪エコ農産物認証制度もできましたので、化学合成農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下で栽培された「大阪エコ農産物」も継続して販売しており、現在に至っています。

良質な産直野菜の継続販売を推進

- スーパーサンプラザは、大阪府南部地域をメイン拠点としていたこともあり、農業生産が行われている地域が地元の大阪府にもあり、また隣接する奈良県や和歌山県からも、地域の農産物を継続して販売することに長らく取り組んできました。
- その後、近郊だけでなく、各地の良質な農産物を、産地直送でリーズナブルな価格で消費者にお届けするということに努めてきました。
- 結果的に、こだわりを持って生産されている農業者や団体との交流につながりました。

地元大阪での、数々の産直品の販売を

- サンプラザにおきましては、地元の良質な農産品の販売に努めてきました。とくに大阪府においては、大阪エコ農産物という、いわゆる減農薬・減化学肥料で栽培した基準がありますが、20年以上にわたって継続して販売を行ってきました。
- その他、南河内郡の千早赤阪村、河南町、太子町からの野菜や果物、そしてお米、他にも羽曳野市、富田林市、河内長野市、堺市、八尾市、貝塚市、泉南市などなどの産直商品を大阪北部からは、能勢町の農産物も販売しています。近隣の奈良県からは有機野菜についても、宇陀市の生産者さんなどを中心に、20年以上継続して販売を行ってきました。桃やブドウ、みかんなどは和歌山から、そして徳島県からも毎日直送野菜が届きます。

サンプラザにおけるその他の取り組み

- 食料自給率アップへの取り組みであるフードアクションニッポンにも積極的に取り組んできました。結果として、フードアクションニッポンアワードにおいて、計6つの入賞となりました。
- 食育活動も積極的に行ってきたこともあり、「平成28年度地産地消等優良活動表彰」において近畿農政局長賞を受賞させていただくことができました。
- 昨年度からは、温室効果ガスの「見える化」実証についても取り組みました。また今年度の拡大実施に向けて、当社の産直先についてもその申請を案内し、その多くが星3つであり、9月実施のサステナウィークから販売を継続しております。

あえて言うなら、より消費者目線の法に

- HACCPに沿った衛生管理が完全施行へ
 - ◆ 2021年、全ての食品等事業者（食品の製造・加工、調理、販売等）はHACCPに沿った衛生管理の実施が必要となりました。
- 食品スーパー業界も、法施行に合わせて、手引書を作成したり、その運用を正しく行う形での業務改善が進みました
- 当社グループでは、HACCP認定の惣菜工場を運営していたので、比較的スムーズに導入できたものの、負荷が全くないわけではありませんが、消費者視点では当然必要な法整備であるかと思います

GAPにも相通じるのかもしれませんが

- 農林水産省ホームページによると

- ◆ 【GAPとは】

GAP（Good Agricultural Practices:農業生産工程管理）とは、農産物（食品）の安全を確保し、より良い農業経営を実現するために、農業生産において、食品安全だけでなく、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組です。

GAPの取組を実施することで、生産管理の向上、効率性の向上、農業者や従業員の経営意識の向上に繋がる効果があり、我が国の農業の競争力強化にも繋がります。

- 実施例としても、食品安全・環境保全・労働安全など多岐にわたるのかと思いますが、これからの時代、こういった発想はより重要となっていくのではないかと思います

おおさか生物多様性応援宣言登録証



おおさか生物多様性応援宣言について

宣言項目	具体例
1 生物多様性に配慮した製品等を積極的に	・ エコ農産物・減農薬農産物等の生産・販売 ・ 府内産農産物、府内産木材の生産・販売

宣言項目	具体例
1 生物多様性に配慮した製品等を積極的に生産、提供します	・ エコ農産物・減農薬農産物等の生産・販売 ・ 府内産農産物、府内産木材の生産・販売 ・ 海のエコラベルのついた水産物の販売
2 府内産や生物多様性に配慮した製品等を積極的に利用します	・ 飲食店のメニューや加工品の材料に生物多様性に関するエコラベルのついた材料を使用 ・ 室内内装等に府内産材を使用

6 外来種の持ち込みへの配慮や駆除を行い、在来種の生息・生育環境を守ります	・ 地域における外来種駆除活動の実施、参加 ・ 敷地内緑化における在来種の選定
7 生物多様性保全への支援・寄付を行います	・ 大阪府や保全団体への寄付 ・ 保全団体等が行う活動への資材等提供
8 土地の利用や開発において、生物多様性への影響が軽減されるよう配慮します	・ 自然環境に配慮した開発計画の作成 ・ 法律で定められた以上の連続した緑地帯の確保
9 生物多様性の保全活動を担う人材を育てます	・ 人材育成プログラムの企画・運営・提供 ・ 保全活動について専門性を有する人材の派遣
10 オリジナル宣言	(独自の取組みについて宣言ください)

登録番号 230218 号

脱炭素経営宣言 登録証

株式会社サンプラザ 様

貴社は 2050 年カーボンニュートラルの
達成をめざし、脱炭素経営に取り組む
ことを宣言されましたので、脱炭素経営
宣言事業者として登録します

なお、登録期間は 2031 年 3 月 31 日
までとします

令和 5 年 5 月 10 日

大阪府知事 吉村 洋文



SUPERMARKET
Sunplaza

世の中の環境意識への高まり

- 世界的にも環境意識への高まりは確実に進んできたのかと思いますが、日本国内においても、ある意味見た目だけではない、真に取り組もうとする事業者が増えてきたのではないのかと感じます
- 様々な理由があろうかと思いますが、確実に国民の意識が醸成されつつあることもその要因のひとつではないかと思います
- その中で、「みどりの食料システム戦略」に出会いました

みどりの食料システム戦略（具体的な取組）

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

調達

1. 資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進

- (1) 持続可能な資材やエネルギーの調達
- (2) 地域・未利用資源の一層の活用に向けた取組
- (3) 資源のリユース・リサイクルに向けた体制構築・技術開発

～期待される取組・技術～

- 地産地消型エネルギーシステムの構築
- 改質リグニン等を活用した高機能材料の開発
- 食品残渣・汚泥等からの肥料成分の回収・活用
- 新たなタンパク資源（昆虫等）の利活用拡大等

生産

2. イノベーション等による持続的生産体制の構築

- (1) 高い生産性と両立する持続的生産体系への転換
- (2) 機械の電化・水素化等、資材のグリーン化
- (3) 地球にやさしいスーパー品種等の開発・普及
- (4) 農地・森林・海洋への炭素の長期・大量貯蔵
- (5) 労働安全性・労働生産性の向上と生産者のすそ野の拡大
- (6) 水産資源の適切な管理

～期待される取組・技術～

- スマート技術によるピンポイント農薬散布、病虫害の総合防除の推進、土壌・生育データに基づく施肥管理
- 農林業機械・漁船の電化等、脱プラ生産資材の開発
- バイオ炭の農地投入技術
- エリートツリー等の開発・普及、人工林資源の循環利用の確立
- 海藻類によるCO₂固定化（ブルーカーボン）の推進等

加工・流通

3. ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立

- (1) 持続可能な輸入食料・輸入原材料への切替えや環境活動の促進
- (2) データ・AIの活用等による加工・流通の合理化・適正化
- (3) 長期保存、長期輸送に対応した包装資材の開発
- (4) 脱炭素化、健康・環境に配慮した食品産業の競争力強化

～期待される取組・技術～

- 電子タグ（RFID）等の技術を活用した商品・物流情報のデータ連携
- 需給予測システム、マッチングによる食品ロス削減
- 非接触で人手不足にも対応した自動配送陳列等

消費

4. 環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進

- (1) 食品ロスの削減など持続可能な消費の拡大
- (2) 消費者と生産者の交流を通じた相互理解の促進
- (3) 栄養バランスに優れた日本型食生活の総合的推進
- (4) 建築の木造化、暮らしの木質化の推進
- (5) 持続可能な水産物の消費拡大

～期待される取組・技術～

- 外見重視の見直し等、持続性を重視した消費の拡大
- 国産品に対する評価向上を通じた輸出拡大
- 健康寿命の延伸に向けた食品開発・食生活の推進等

・持続可能な農山漁村の創造
・サプライチェーン全体を貫く基盤技術の確立と連携（人材育成、未来技術投資）
・森林・木材のフル活用によるCO₂吸収と固定の最大化

- ✓ 雇用の増大
- ✓ 地域所得の向上
- ✓ 豊かな食生活の実現

環境に良いって心地よい！

ひと手間かけた
安全・安心の印



令和5年度

温室効果ガス



削減

国産水産物温室効果ガス削減見える化実証事業

ここがすごい！

河端さんのトマト

- 通常の半分以下の農薬や化学肥料で栽培された農産物
- 土の温かさで冬も生産

地球温暖化の原因の

温室効果ガスを削減



環境に良いって心地よい！



ここがすごい！

ごくわせ

あじごころ

味の極早生みかん

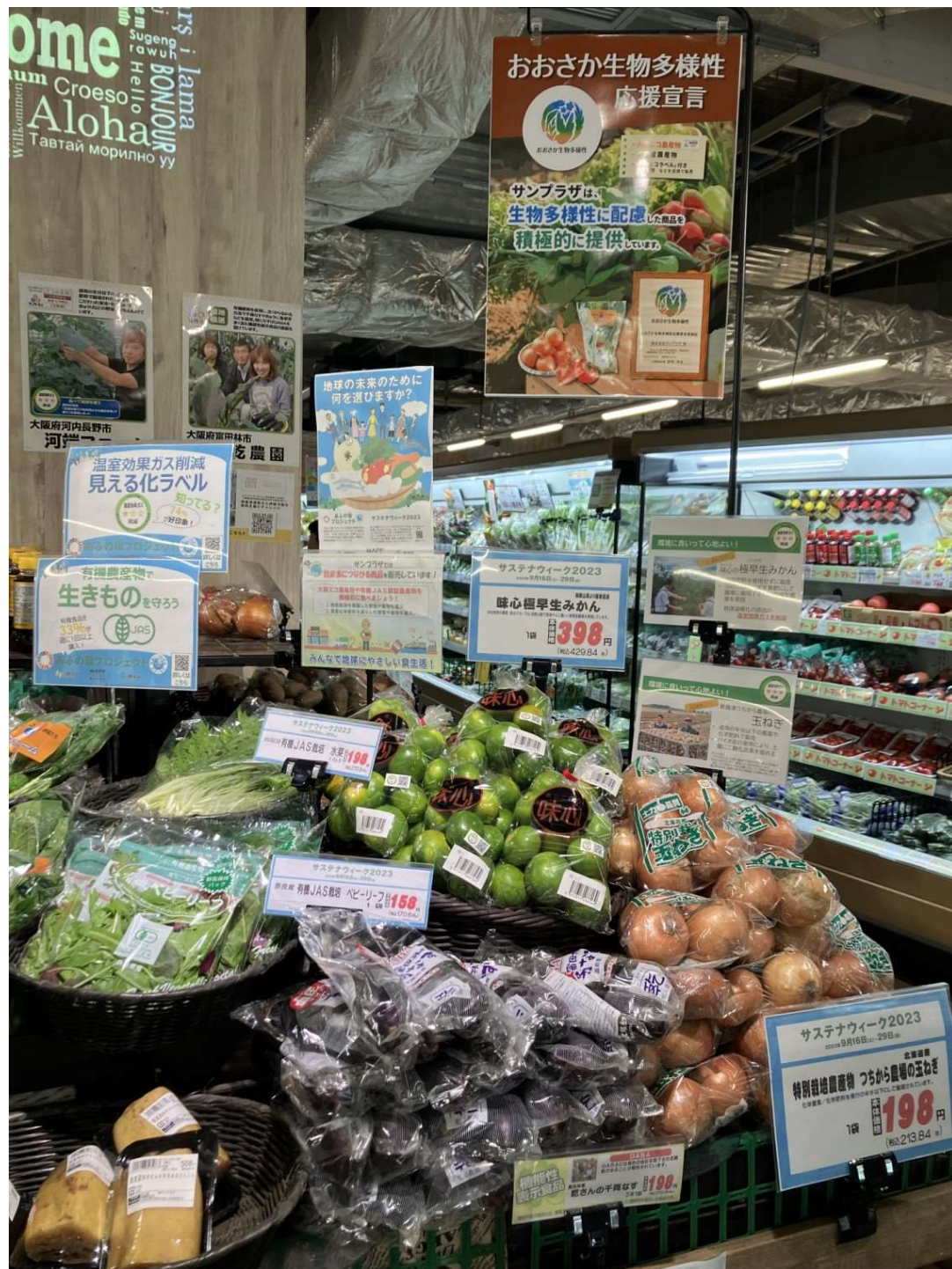
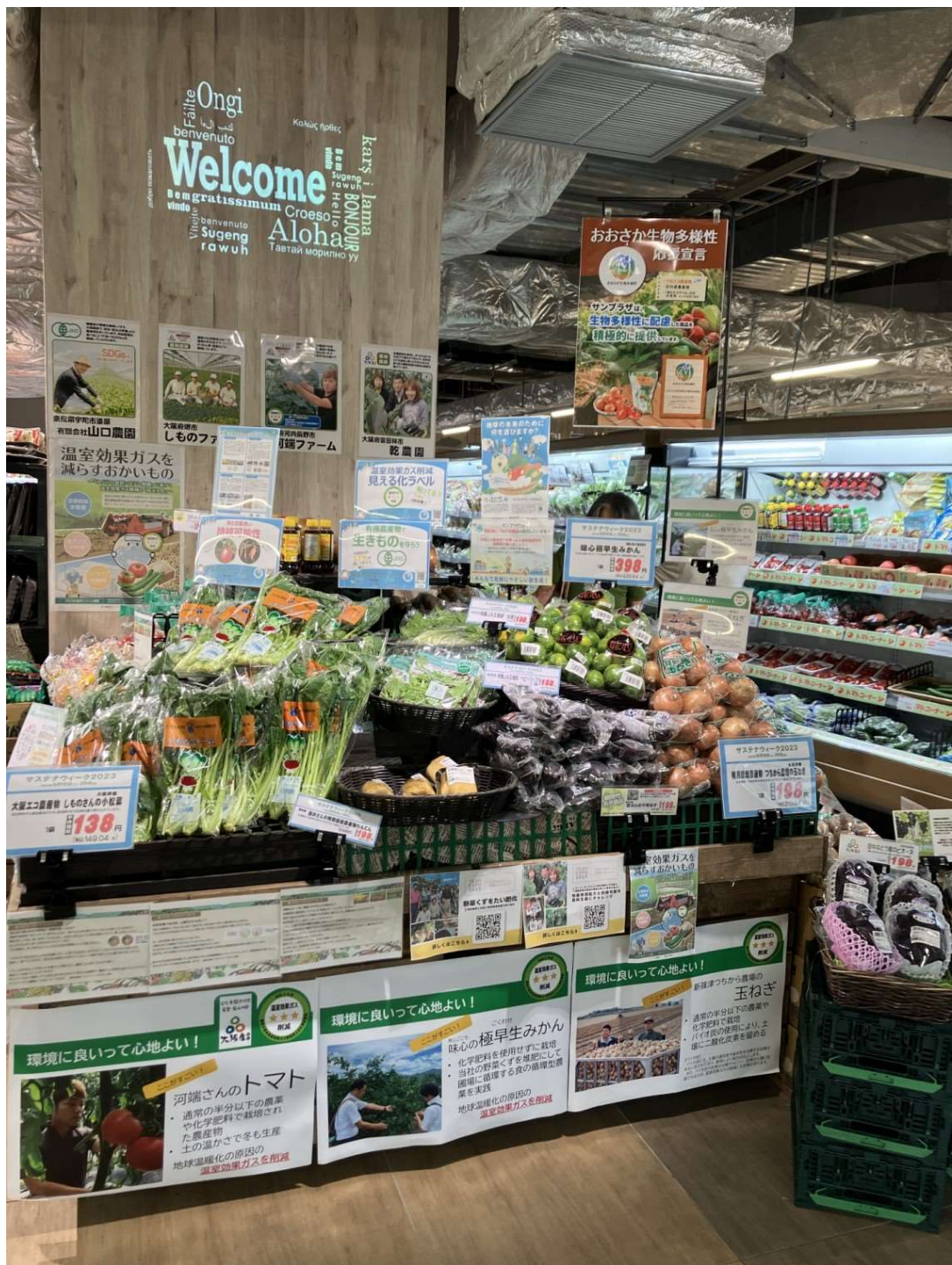
- 化学肥料を使用せずに栽培
- 当社の野菜くずを堆肥にして圃場に循環する食の循環型農業を実践

地球温暖化の原因の

温室効果ガスを削減







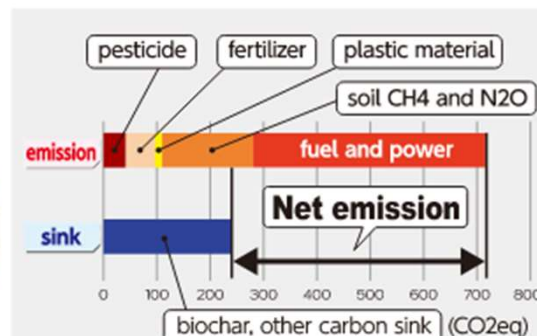
Visualization of GHG reduction efforts

Farmers' efforts for the reduction of GHG emissions are evaluated and communicated to distributors, retailers and consumers through labelling!



Labelling according to GHG reduction rate

- ★ :-5%
- ★★ :-10%
- ★★★ :-20%



Reduction Rate (%)

$$= 100\% - \frac{\text{individual farming practices}}{\text{average farming practices}}$$

Reduce emissions

- Fossil fuel
- Chemical pesticide
- Chemical fertilizer
- Methane from paddy fields (by mid-season draining)

Increase sink

- Biochar
- Manure
- Woody biomass



This labelling system based on MIDORI accelerates consumers' understanding, behavioral changes and farmers' actions for GHG reduction!

「おおさかCO2CO2ポイント+」にも

- 大阪府において、昨年は脱炭素ポイントとして実施されましたが、本年度は「おおさかCO2CO2ポイント+」として行われています
- サンプラザにおいては、農林水産省の「見える化」で★を獲得した農産物や、その他農薬や化学肥料を削減した農産物や有機農産物を食べていただくことで、「脱炭素社会」への取り組みの一環となる行動を推奨しています

地産地消で脱炭素に貢献



河南町産 水越米

23%削減

※ 標準的な収量と仮定して算定しています



Osaka
A♥Green
Action 

SUPERMARKET
Sunplaza

地産地消で脱炭素に貢献

河内長野市産・大阪エコ農産物

河端さんのトマト



52%削減



Osaka
A♥Green
Action 

SUPERMARKET
Sunplaza

地産地消で脱炭素に貢献



富田林市産 乾さんの
GABA千両なすび

23%削減



Osaka
A♥Green
Action 

SUPERMARKET
Sunplaza

地産地消で脱炭素に貢献



泉南市産・大阪エコ農産物

泉州たまねぎ

64%削減



Osaka
A♥Green
Action 

SUPERMARKET
Sunplaza

首都圏でも新たな脱炭素アクションが

- 大阪府でのこの取り組みは、「かながわCO₂CO₂(コツコツ)ポイント＋(プラス)」という形でひろがりを見せています
- 是非とも、温室効果ガスの「見える化」を皆さん方に知っていただき、「農産物で環境配慮」の環(わ)がひろがっていけばと思います
- サンプラザでは、「あふの環2030」にも取り組んでいます